

tsuzumiによる情報参照型チャット応答システム

閉域環境で機密業務情報の参照が可能な
質問回答システムを実現します

#業務効率化 #顧客体験価値向上

研究所×マーケティング部門 連携案件

Laboratory × Marketing Collaboration Project



研究内容/Contents

1. tsuzumiに対してRAGに特化したアダプタ学習手法を検討
回答文章の正答率が向上しました。
We investigated an adapter learning method specialized for RAG on tsuzumi, which improved the accuracy of response sentences.
2. 会社内の機密情報などの閉域環境データに対しても、
生成AI活用することが可能となります。
It will become possible to utilize generative AI for closed-environment data, including company confidential information.
3. 生成AI活用のユースケース拡大、顧客業務効率化、
利用者の体験価値向上が期待されます。
This will expand the use cases for generative AI and is expected to improve business efficiency for customers and enhance the user experience value.

研究所 × マーケティング
laboratory × marketing

///技術課題

機密性の問題から、社内情報を利用できないユースケースは対応することができませんでした。

///研究目標

機密性の高い社内文書を閉じたインフラアーキテクチャでユーザの質問にチャット形式で回答する仕組みを実現します。

---要素技術

アダプタチューニングによるRAGシステムによる検索精度向上手法

---市中技術差異点

tsuzumiに対して学習データのクリーニングおよびアダプタチューニング手法の改善による回答文章作成精度の向上

---適用ビジネス

官公庁、地方自治体、金融分野
顧客問合せに対する回答文生成、社内ドキュメント検索
LITRON Generative Assistantと連携して2025/04月以降提供予定